

ゆうゆう通信

令和5年6月10日発行 第46号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設
ゆうゆう 広報委員会
〒395-8503 飯田市上郷黒田341
電話 53-6048 FAX 53-6047



ご挨拶
ゆうゆう施設長・高松診療所長
金子 源吾

令和5年度にあたり一言ご挨拶を申し上げます。
過去3年以上に亘り、世界中に蔓延した新型コロナウイルス感染症は、この5月8日に感染症法上の位置付けが、季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げられました。病原性の低いオミクロン株に置き換わってきたことやワクチンの普及により、重症化する率が低くなってきたことが主な理由と考えられています。感染対策は個人や事業者が主体になり、医療体制や医療費の公費負担が変わることです。例えば、診断した医師の届け出の必要はなくなり、外出自粛期間も短くなり、医療費の自己負担が発生することなどがあります。ただ、ワクチンや高額な抗ウイルス薬代は当面公費負担が続くようです。すでに3密以外の環境でのマスク着用の自由化など新型コロナウイルス感染対策が一部緩和されているようですが、重症化するリスクのある高齢者が入所している「ゆうゆう」では基本的な感染対策を継続していきます。昨年度「ゆうゆう」では新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、ご利用者様・ご家族様には多大なご心配とご迷惑をおかけしました。ただ、不幸中の幸いは、感染症による直接死亡はなく、何とか切り抜けることができました。クラスターを経験して学んだことは今後の感染症対策に生かしていきたいと思っております。本年度も「ゆうゆう」のご利用者様・ご家族様ならびに関係各位には格別なるご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。



認知症は誰でもかかる？
ゆうゆう事務長
棚田 昭彦

地域の皆様には施設の運営にご理解・ご協力を賜り心から感謝しております。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な困難な状況に直面しましたが、皆様のご協力のおかげで、入所制限などの感染対策で利用者様に安全な環境をご提供することができ、心より御礼申し上げます。しかし、残念ながら、コロナ禍のために、認知症に関する講習会や相談会などの開催ができませんでした。今回のゆうゆう通信を通じて「認知症」について簡単な紹介をさせていただきます。
認知症が疑われるケースとして「匂いがわからなくなった」「家族との約束を忘れる」「家の鍵を紛失したりするようになった」「日常会話でも同じことを何度も聞く」などの症状があります。認知症も様々な種類があり、人によって症状が異なるため、専門家の診断が必要です。また認知症は誰もがかかる疾患で、完全な治療はできませんが、発症と進行を遅らせることはできるようです。認知症のリスクを減らすためには、定期的な運動や健康的な食生活、脳を刺激すること、例えば、読書や将棋などのゲーム、手芸や音楽などを楽しむことも予防に役立ちます。最後に、ストレスを減らすことで、誰でも認知症のリスクを減らすことができるそうです。
「ゆうゆう」では、認知症についての情報交換や相談をする「ゆうゆうカフェ」や、サポートの方法等を学ぶことができる「認知症サポーター養成講座」の開催を予定しています。ご自宅での生活に不安や心配がある方は、お気軽にご相談ください。職員が、皆様の気持ちに寄り添い、笑顔と自身を取り戻していただくためのお手伝いをさせていただきます。

2階 お花見

3月は暖かいというよりも暑い日が続き、桜もいつもより早く咲き始め、毎年恒例の花見も3月下旬に行くことになりました。

花見を行った24日は曇り空ではありませんでしたが、翌日から天候が悪く、8分咲きということもあり、出かけるにはちょうど良い気候でしたので、正命寺までお花見に出かけました。

コロナ対応の中、なかなか外出ができませんでしたが、声をかけていくと「私もつれてつてくれるの?」と、楽しみにしている声が聞かれています。季節感をしっかりと味わい、施設に戻ると桜の話で盛り上がり、笑顔が多く観られていました。



3階 お花見

毎年恒例のゆうゆうのお花見と言えば、『正命寺の枝垂れ桜』です。日に日に色濃くなっている桜の咲き具合と天気を気にしながら今年も桜を見に行くことが出来ました。例年よりも早く、色もとても濃く見応えがありました。利用者様も手が届くほどの枝垂れ桜を間近で見ることがとても感動していました。地元の桜を見に行った話等も聞かせて下さる利用者様もいました。記念の写真を撮る際も「いいに。恥ずかしいで。」との声もありましたが、桜と共に素敵な笑顔が見られました。



デイ お花見

今年も3月27日(月)～31日(金)にかけて、お花見に行ってきました。今年の飯田の桜は、3月23日に開花宣言がありました。

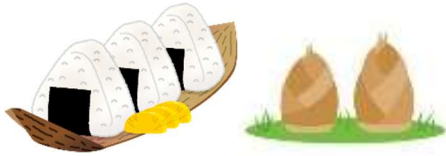
開花宣言は平年より10日、昨年より8日早いそうです。5日間天気にも恵まれ、黄梅院や大宮桜並木、美術博物館の安富桜など、飯田の桜の名所を巡りました。車窓からのお花見となりましたが、満開の桜に皆さん喜んでおられました。

またゆうゆうのすぐ近くの正命寺の枝垂れ桜を歩いてお花見にいかれた方もいました。正命寺の枝垂れ桜は樹齢400年を越えているそうです。満開の桜に心を和ませたデイケアのお花見でした。



3B たけのこおにぎりで ピクニック

急に夏が来たと思える暑い5月17日に、3Bチームでは「おにぎりちよいと詰めて」の行事を行いました。旬である竹の子ご飯のおにぎりを握り、お弁当を作って、公園や食堂等好きな場所でお弁当を食べるという行事でした。ご飯が炊けてくると、プーンと竹の子の良い香りが広がりました。ご飯が炊きあがり、1人1人おにぎりを作りました。「いつも妻が作るから、初めて作った」という男性の方もいれば、手際よく握る女性の方もいました。お弁当が完成し5人で公園に出発。東屋の下でお弁当を食べ「外で食べると美味しい」と笑顔でした。食堂で食べた方は、自分の席が一番な様子で喜んでお弁当を食べました。コロナ防止の為、久しぶりの行事となりましたが楽しめました。



癒しの場 2階バルコニー

ゆうゆうでは2階のバルコニーや3階のベランダを活用して野菜や花を育てています。

野菜や花を育てることは楽しみとなるだけでなく、自然や植物の心地よい刺激を活用したストレス軽減や創造活動による意欲回復、体を動かすことによる総合的な動作練習となることもあり、様々な良い効果があります。利用者様には、昔を思い出したりしながらリフレッシュとして行ってもらっています。それぞれの野菜や花は利用者様に植えて、管理して頂いています。スタッフは、利用者の皆様に色々教えてもらいながら、トマトやエンドウ、オクラやブロッコリーなど一緒に楽しく野菜を育てています。収穫した野菜は利用者様と料理を作ったり、給食で調理してもらい汁物の具となることもあります。たくさん量は作っていませんので些細なものではありますが、味わうことで更に楽しんでもらえればと思います。また利用者様は、昨年作成した池で、メダカが大きくなっていく姿を楽しんでいます。池の周囲の花々は、利用者様の新たな「癒しの場」となっています。



新入職員紹介

管理係兼栄養管理係長

大島 康弘



4月から管理係兼栄養管理係長として着任しました大島康弘です。9年ぶりに戻って参りまして、懐かしさを感じております。施設管理と食の提供を通じて、利用者の皆様により安心して快適な生活を過ごしていただけるよう頑張りますので、よろしく願います。

看護主任（2F）

渋谷 涼子



4月に市立病院から異動になり、お世話になっていきます。施設のご利用者様と、御家族の皆様のお顔を、力にしたいと思います。宜しくお願いします。

看護師（2F）

山崎 陽子



昨年10月市立病院からゆうゆう2階に異動してまいりました。まだまだ足りない所ばかりですが、ご利用者様が健康で安心して生活が送れるために、ゆうゆうの一員として努力していきたいと思ひます。宜しくお願いいたします。

看護師（2F）

玉沢 広貴



この度ゆうゆうへ異動となりました玉沢です。ゆうゆうの利用者様が安心・安全な生活を送って頂く事は勿論ですが、日々を楽しみ笑顔を引き出せるような関わりが出来たらなと思っています。宜しくお願いします。

栄養管理係

淵田 裕香



4月より管理栄養士として勤務している淵田と申します。以前は愛知県内の病院に勤めており、ゆうゆうのような施設での勤務は初めてです。病院とは異なる点があり戸惑うこともあります。毎日学べることも多く、楽しく勤務させていただいています。これまで栄養管理係で行ってきたことを引き継ぎ、ゆうゆうに関わる皆さんの健康を栄養面でサポートすることができるよう、頑張っていきたいと思ひます。よろしく願ひいたします。

よく
お願いす



栄養管理係

中村 美香



昨年10月より管理栄養士として勤務しております。中村美香です。利用者様にとって毎日の楽しみである食事に携わることができ、日々やりがいを感じています。これからさらに多職種と連携して、食を通して様々なサポートができるよう努めてまいります。宜しくお願いします。

栄養管理係

幾島 真奈



4月より調理員として働かせて頂いてる、幾島真奈です。調理師として働くのは初経験のため、先輩方を頼りに一日でも早く自立できるように頑張ります。色々なレシピを覚えて実生活に活かしていきたいと思います。

編集後記

朝晩の冷え込みはありますが、過ごし易い季節になりました。5月からコロナが5類となり、ゆうゆう公園では子供達が楽しそうに遊んでいる姿をよく見かけるようになりました。先日、朝早くから草取りをされている庭木業者の青年を見かけました。一生懸命な姿に感謝の気持ちを持ち続けたと思います。（哲）